

保育計画（新規事業計画）成果報告書

法人名	社会福祉法人ひふみ会
施設名	領家保育所
報告者（役職）	佐藤幸子（所長）
住所・連絡先	埼玉県川口市東領家 3-1-8
	☎ 048-223-4781 E-mail ryoke@1234.gr.jp

○タイトル（保育計画 or 新規事業計画）

コーナー保育ですべての子どもたちが遊びやすい環境を！！
～気がかり児童への療育支援および個性の把握と自主性のアップをはかる～

○主な助成備品

おちつきルーム、フリーパーテーション、フリーパーテーション4連、ミラーボードキッズ、みんなでつくろうトンネルパネルセット、わくわくタウン、ハリネズミわいわいセット、プロジェクター

1. 保育計画（新規事業計画）策定の目的

2022年コロナ禍の世情の中、当所は公設民営化され私ども社会福祉法人ひふみ会が運営を担う事となりました。活動の制限がある中でも保護者から多数のご協力をいただき、園児一人一人が無事に一日を過ごせるよう取り組んでまいりました。

昨今、情報過多と言っても過言ではないこの時代、その情報をうまく受け入れる手段を身に付けながら、自分の考えをしっかりと持ち表現できる力を発揮できるような道すじをつけられる事を目的に職員共々日々研鑽に努めております。

各々の個性を長所として生かし、自ずと自己表現できるよう創意工夫する中で気がかりな児童や支援を要する児童への配慮が必要となります。同じ環境や状況での活動が難しい場合、安心して過ごせる場所や空間を提供する事で、気持ちを落ち着かせることができれば次の活動に進みやすかったり、友だちとの関わりのタイミングもとりのやすいのではないかと考えます。子どもの「やりたい」気持ちが沸き起こるような環境を整え集中して取り組む力を培っていく事を目指し保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

《おちつきルーム》

加配対象の児童や気がかりで支援を必要とする児童は、時として感情のコントロールが難しかったり、場面の切り替えがすんなり進まない場合、大声を出す、物を投げる・叩く、癇癪が抑えられず激しく奇声を発する等、興奮を伴った混乱状態が見られます。この状況の場合まずは周りの安全確保をし、落ち着くまで待つことがよいと考えます。保育士の付き添いのもと、ある程度の狭小な空間に身をおき、今までの視界がシャットアウトされた「おちつきルーム」を提供してみる事としました。暗い空間となっていますが、気がかりな児童や障害のある児童にとっては心が落ち着くようで、自ら入っていくことが多いです。時と場合によっては、全く効果が得られない事もありますが、普段のごっこ遊びや友だち同士と一緒に入って「かくれ家」的な遊びを見かける事もあり子ども達の独創性に感心しきりです。



《パーテーション》

保育室の面積は定員数に比例し、その中で室内遊びや食事、睡眠などの日常活動が行われるのがセオリーです。保育士は様々な工夫を凝らし子どもたちにとって快適な園生活が送れ、なおかつ保育士にとっても効率よく安全に活動を進められることを常に考えて取り組んでいます。特に乳児組は広い空間を仕切る事で本能的な安心感をもって過ごす事ができるのでないかと考え、取り入れました。また、午睡準備でコットを用意する際、パーテーションを利用し絵本コーナーで読み聞かせをしたり、ブロック遊びをして有効に利用しています。



《ミラーボードキッズ》

片面がホワイトボード、片面がミラーボードとなっており年長児でも全身が写る高さでキャスター付きという利点を有効に利用し、それぞれ年齢に合った使用の仕方を工夫しています。0歳児はミラーボードに全身を写し自分や友だち、保育士の動きに興味を示したり、触ろうとして近づいたりなど保育士にとっても様々な発見があります。年長児は、ひらがなの練習の際にホワイトボードを使用している場面もあります。又、毎月の誕生会に保育士からの出し物のプレゼントに使ったり、避難訓練後の集まりの際保育士からのお話に使用したりと有効に利用しています。



《みんなでつくろうトンネルパネル・わくわくタウン・ハリネズミわいわいセット》

トンネルとわくわくタウンは部屋全体を使って組み立てたりくぐったりと創造性に富む遊具であり、自由に思いをめぐらせる事ができます。特にわくわくタウンはおうちを作ったり、お店屋さんになったりと、思い思いのおもちゃを持ち寄ってごっこ遊びをしている様子も見受けられました。



《プロジェクター》

ICT化の普及により、連絡帳やおたよりお知らせなどもアプリを通しての通知となりました。有効性がある事を前提に取り組んでおりプロジェクターの利用もその一環です。今のところ年に数回の利用ですが要所要所で子どもにも保護者にも楽しんでいただけたように思います。主なところでは、修了式の子どもたちのスライドショーや食育の一環で某食品メーカーのオンライン教室を幼児組が視聴しました。メーカー側からのライブ映像による体操やクイズをしっかりと集中して聞き言葉のキャッチボールもスムーズにでき、有意義な時間を過ごす事ができました。



3. その成果と評価

◆おちつきルーム…おちつきルームに入る事でクールダウンし、冷静さを取り戻し自ら保育室に戻る様子を見る事ができました。おちつきルームに入っている間は、むやみに言葉をかけるのではなく、若干距離を保ちつつ時間をかけ見守る態勢で関わります。デザイン的にもポップで子どもたちに人気の場所です。

◆パーテーション…数種類のコーナー遊びから子どもが自ら「やりたい」気持ちを持って取り組む姿勢は「考え」をもって生きていく今後に繋がる第一歩です。友だちとのやりとりやトラブルも含め、総じて「穏やか」に過ごせる保育環境の設定として効果的なものとなっています。

◆ミラーボードキッズ…雨天など室内での活動の際、ホワイトボードに思い思いに絵を書く遊びや、その裏でミラーボードに姿を映し創作ダンスごっこをしている姿も見られます。「自分の全身を見る」場面や、マジックで思いっきり大きく描けるという経験は保育園ならではかもしれません。物理的に大きなものですが、収納に場所をとる事もなく一室の片隅に鎮座しており、想定外に使用頻度が高いことに喜びを感じています。

◆みんなでつくろうトンネルパネル・わくわくタウン・ハリネズミわいわいセット…トンネルパネルのポップな色合いにもひかれ型合わせなど、乳児組にも好評なアイテムとなりました。思い思いに組み合わせたりはずしたり、方向を変えたりくぐったり、迷路のような遊び方やトンネル鬼ごっこなど子どもたちから生まれる遊びは保育士も大変勉強になります。幼児組になると相談し合いながら作ったり、友だちとの約束やゆずり

合いなど社会性も見ることが出来ます。

◆プロジェクター…修了式のスライドショーは、写真と音楽で園生活を振り返ってもらい、保護者には成長に喜びを感じてもらえたように思います。クオリティについては更に良い出来映えを目指しつつ保護者の皆様と子どもたちに喜んでもらえるよう努めてまいります。食品メーカーのオンライン教室なども機会があれば積極的に取り入れ子どもたちの記憶に残るような食育活動を目指します。

4. 今後の課題と展望

私達の掲げている保育方針のひとつに「ひとりひとりを大切にした保育」があります。人見知りの子・引っ込み思案な子・社交的な子・積極的な子など、すべてが個性です。全園児ひとりひとりが自分の「やりたい気持ち」や「言いたい言葉」を発信し伝える事が出来るようなサポートをし、その一方で泣きたい気持ち、怒りたい気持ち、叫びたい気持ちをうまく別の形で表現できる手助けをしてまいります。

AIの急速な進歩の昨今ですが、園でのアナログな遊びの中から、いろいろな経験をし「自分で先を見通して考える力」を培っていけるよう職員一丸となって取り組む所存です。

この度贈呈していただいた沢山の遊具等を活用し、笑顔いっぱいの幸せな子どもたちであふれる保育園であるよう希望し努めてまいります。

以上